

まにわ地域間交流～やまびこ交流会～
連携を深め、地域づくりを活発に

市政トピックス
TOPICS



自分たちの取り組みのことを交え地域資源について語り合う参加者



各地域からたくさんの方が参加



中和地域の空き家調査の取り組みを聞く参加者

1月21日、落合総合センターで「まにわ地域間交流会」が開かれました。この交流会は、市内で行われている地域づくりのための意欲的な取り組みについての情報共有と、地域間の連携強化により課題解決と活発な地域づくりにつなげるのが目的。事例発表後のテーマごとの交流会では、「空き家の調査と活用」や「地域資源を活用した特産品づくり」などについて、熱心に意見が交わされました。今後は交流定住センターが仲介役となり、テーマごとの交流を行う予定です。

**真庭いきいき農林業者のつどい
鳥獣被害に立ち向かう**

1月19日、久世エスパスセンターで「真庭いきいき農林業者のつどい」が開かれ、市内外の農林業者など約300人が参加しました。新規就農林者の紹介の後、真庭新農業経営者クラブ連絡協議会や真庭高等学校生徒などが、プロジェクトや意見を発表。講演では、梶野生鳥獣対策連携センターの阿部豪さんが「鳥獣被害軽減のためには、獣の目線に立った柵の設置が大切で、捕獲従事者と地域の連携による捕獲も不可欠」と話されました。



森林資源の収集・加工・供給の仕組みを学ぶ参加者



猪や鹿などの習性が良く分かる動画も交えた楽しい講演

**バイオマス産産都市連絡協議会視察
全国協議会が真庭で学ぶ**

1月16日と17日の2日間、全国のバイオマス産産都市選定地域で組織する連絡協議会初の先進地視察が真庭市で開催されました。視察は事前アンケートで視察先として最も希望が多かった真庭市で企画。選定地域の全国12市町村の首長など約30人は、バイオマス発電所やCLT工場、液肥利用の野菜圃場を視察し、地域資源の付加価値を高めることで経済循環をも実現する真庭市の取り組みについて学んでいました。



市政に関する動きの一部を紹介します

1/15 文化財防火デーを前に防火査察

1月26日の文化財防火デーを前に真庭消防署湯原分署の署員が、湯原地域の社地区にある真庭市指定の文化財である大御堂を査察し、火事の危険がないかや消火器が備わっているかなどの防火体制を点検しました。



1/20 水の力で光をつくろう

北房ほたる公園前の備中川で小水力発電勉強会が開かれました。諏訪洞から流れる水路に発電キットを設置するとLEDが点灯。参加した小学生やホテル保存会の人たちは少しの水流で発電する仕組みを学びました。



市長室から
こんにちは!

明治150年を考える

本年、2018年は、明治元年である1868年から数えて150年になります（当時は太陰暦で、太陽暦では1868年から1869年の両年に掛りますが）。

この節目に当たり、政府では記念施策などを行うことにしていますし、学者やマスコミの間では「明治時代」とか「明治維新」に関する多くの論評がされ始めています。NHKの大河ドラマ「西郷(せご)どん」もこの時期を意識しているのでしょう。

この150年間は、欧米以外の地域で近代独立国家を作り、先進国にしたことの素晴らしさ、先人たちの血の滲むような努力・苦勞＝「光」と朝鮮、中国などへの侵略、国内外に甚大な被害をもたらした戦争＝「影」という両面を持った時代でした。

戦後70年の元旦に、今上天皇が、「満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学び、今後の日本のあり方を考えていくことが、今、極めて大切なこと」というお言葉を出されました。最近、「不安な個人、立ちすくむ国家～モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか～」という経済産業省の次官・若手プロジェクトの文書も出ています。

今、内外の複雑な情勢の中で日本、各地域は大きな岐路に立っています。これを契機に、私たち主権者は、過去の教訓に学びながら、未来を見据えて、考え、行動しなければならぬのではないのでしょうか。



旬の野菜の大切さについて話す住田明大さん

1月21日、勝山文化センターで食育や健康づくりについての関心を高め、実践につなげることを目的とした「まにわ食育・健康まつり2018」が開かれました。野菜の持つ力をテーマとした講演では、野菜ソムリエの資格を持つ住田明大さん（久世）が「野菜は旬の時期にそれを食べることで身体に多くの栄養を摂り入れることができ、体のリズムや精神を安定させてくれる。野菜の力で心も体も健康に」と話されました。

まにわ食育・健康まつり2018
食と健康の大切さを考える



てっぺんを目指してがんばるぞ!

1月21日、白梅総合体育館で気軽にスポーツを体験するイベントが開かれ市内外から約550人が参加しました。参加者は東京オリンピックの正式種目の「ボルダリング」や同パラインピック種目で駆け引きが醍醐味の「ボッチャ」、テープ状の綱を渡る「スラックライン」など未体験種目に奮闘。また、スラックラインの世界チャンピオン大杉徹さんによるパフォーマンスショーも行われ、会場を大いに盛り上げました。

スポーツ体験ひろば
ニュースポーツに挑戦!